

知 事 指 示 事 項

- 「令和6年能登半島地震」最大の被災地である石川県を発災後初めて訪問し、その被害の甚大さや、被災地を下支えする国や地方公共団体、民間団体による支援活動などを目の当たりにし、改めて、一日も早い暮らしやなりわいの再建に向けた持続的な支援の必要性を強く感じた。

- 現在、我が県が支援に当たる避難所運営や罹災証明発行などの応急対策に加え、今後、事態の進展に伴い様々な支援要請がなされることが見込まれることから、引き続き関係部局においては、被災地から要請があった際には速やかに対応ができるよう準備の上、万全な体制で臨むこと。

- また、発災1ヶ月の節目に政府の「令和6年能登半島地震復旧・復興支援本部会議」が開催されるとともに、石川県においても「令和6年能登半島地震復旧・復興本部」を設置し、「創造的復興」に向けた取組を推進しているが、復興までの道のりは長期に及ぶことが想定されることから、我が県が持つ、東日本大震災からの復興に向けた経験や知識、ノウハウを惜しみなく、継続的に提供し、震災時に多くの御支援をいただいた被災地の皆様への支援に、県庁一丸となって取り組むこと。